

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【公表番号】特表2006-519689(P2006-519689A)

【公表日】平成18年8月31日(2006.8.31)

【年通号数】公開・登録公報2006-034

【出願番号】特願2006-504590(P2006-504590)

【国際特許分類】

<b>B 05 D</b>	<b>7/02</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>B 05 D</b>	<b>1/36</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>B 05 D</b>	<b>7/24</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>B 32 B</b>	<b>27/32</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>C 08 J</b>	<b>7/04</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>C 09 D</b>	<b>201/10</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>C 09 D</b>	<b>5/00</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>C 09 D</b>	<b>123/00</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>C 09 D</b>	<b>123/12</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>C 09 D</b>	<b>7/12</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>C 09 D</b>	<b>125/00</b>	<b>(2006.01)</b>

【F I】

<b>B 05 D</b>	<b>7/02</b>	
<b>B 05 D</b>	<b>1/36</b>	<b>B</b>
<b>B 05 D</b>	<b>7/24</b>	<b>3 0 2 Y</b>
<b>B 32 B</b>	<b>27/32</b>	<b>E</b>
<b>C 08 J</b>	<b>7/04</b>	<b>E</b>
<b>C 09 D</b>	<b>201/10</b>	
<b>C 09 D</b>	<b>5/00</b>	<b>D</b>
<b>C 09 D</b>	<b>123/00</b>	
<b>C 09 D</b>	<b>123/12</b>	
<b>C 09 D</b>	<b>7/12</b>	
<b>C 09 D</b>	<b>125/00</b>	

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月2日(2007.3.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

シラン官能性の1以上の非極性重合体を含むプライマーを非極性基体上に塗布する段階、そしてその後に顔料入りコーティングの1以上の層をプライマー層上に塗布する段階を含む、非極性基体をコーティングする方法。

【請求項2】

プライマー上に塗布されるコーティング組成物がベースコートであり、そしてその後にクリアコートの1以上の層がベースコート上に塗布される、請求項1に従う方法。

【請求項3】

ベースコートおよびクリアコートがウェットオンウェットで塗布され、そしてその後の段

階で一緒に硬化される、請求項2に従う方法。

【請求項4】

アルキル化芳香族炭化水素樹脂および非極性重合体を含むプライマー組成物であって、該重合体がシラン基を含む組成物。

【請求項5】

重合体がポリオレフィンである、請求項4に従うプライマー組成物。

【請求項6】

ポリオレフィンがポリプロピレンである、請求項5に従うプライマー組成物。

【請求項7】

1以上の伝導性顔料を含む、請求項4に従うプライマー組成物。

【請求項8】

シラノール縮合触媒を含む、請求項4に従うプライマー組成物。

【請求項9】

シラノール縮合触媒が有機スズ化合物である、請求項8に従うプライマー組成物。

【請求項10】

有機スズ化合物がジラウリン酸ジブチルスズである、請求項8に従うプライマー組成物。

【請求項11】

重合体が重合体の20重量%まで、たとえば3~10重量%、たとえば約5重量%のシラン官能性基を含む、請求項4に従うプライマー組成物。

【請求項12】

請求項1に従ってコーティングされた非極性基体。

【請求項13】

基体がポリオレフィン基体である、請求項1\_2に従う非極性基体。

【請求項14】

ポリオレフィン基体がポリプロピレン基体である、請求項1\_3に従う非極性基体。

【請求項15】

基体がゴム変性ポリプロピレンである、請求項1\_4に従う非極性基体。